

会津の歴史にふれてみませんか



AIZU TSURUGA-JO

会津 鶴ヶ城

古の想いここに。



鶴ヶ城天守閣 茶室麁閣

史跡若松城跡 / 郷土博物館

福島県指定重要文化財

インフォメーション

- ◆開館 8:30 am
- ◆閉館 5:00 pm
- ◆入場締切 4:30 pm

スタンプをどうぞ



鶴ヶ城天守閣・茶室麁閣 入場料

鶴ヶ城・茶室麁閣共通券
お得な共通券です。
《高校生以上》ADULT 《小中学生》CHILDREN
大人:510円 小人:150円
《鶴ヶ城天守閣のみ》 《茶室麁閣のみ》
大人:410円 大人:200円
小人:150円 小人:無料
◆小学校就学前の幼児は無料です。
◆団体30名様以上1割引・100名様以上2割引となります。

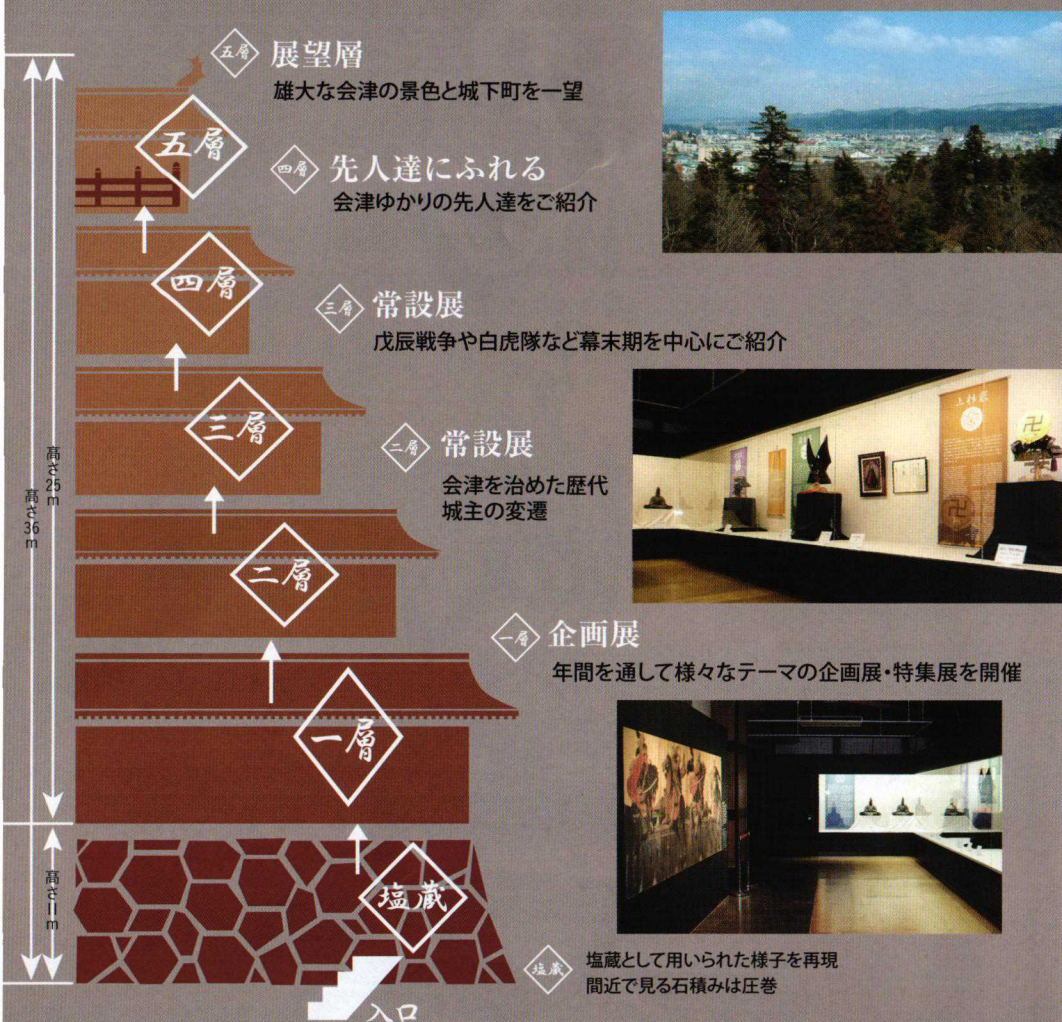


若松城管理事務所

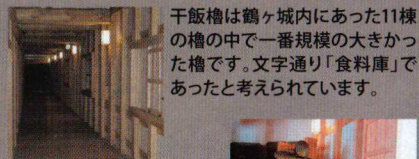
会津若松市追手町1番1号
TEL.0242-27-4005 FAX.0242-27-4012
くわしくは [鶴ヶ城](#) [検索](#) [クリック!](#)

鶴ヶ城で会津の歴史を楽しく学ぼう！

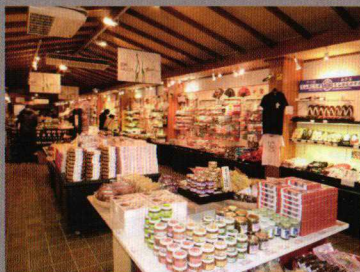
天守閣内は郷土博物館として会津の歴史や文化をご紹介します。



復元された南走長屋・干飯槽



干飯槽は鶴ヶ城内にあった11棟の槽の中で一番規模の大きかった槽です。文字通り「食料庫」であったと考えられています。



鶴ヶ城ではオリジナル商品をはじめ、会津の銘菓やお土産を多数用意しております。

鶴ヶ城歴代城主の変遷

葦名家



1384(至徳元年)/葦名直盛が東黒川館を建てる。

伊達家

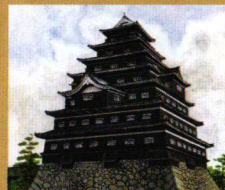


1589(天正17年)/伊達政宗が会津に入る。

蒲生家



1590(天正18年)/蒲生氏郷が会津領主として黒川城に入城。
1593(文祿2年)/七層の天守閣完成。黒川を若松に改め町割りを作る。名前も鶴ヶ城と命名。



蒲生氏郷は、鶴ヶ城の生みの親。統治した期間は短かったが、地名を「若松」に改め、城下町の基盤を作り、今よりも高い七層の鶴ヶ城を築き、茶室麟閣も建てられた。

上杉家



1598(慶長3年)/上杉景勝が会津入りし、出羽3郡、佐渡3郡を加えて120万石となる。

蒲生家



1601(慶長6年)/上杉景勝が米沢に転じ、蒲生氏郷の子・秀行が会津に入る。

加藤家



1627(寛永4年)/伊予松山から加藤嘉明が会津に入る。
1639(寛永16年)/天守閣は五層に改められ、西出丸、北出丸が整備される。

保科家



1643(寛永20年)/嘉明の子・明成が会津40万石を幕府に召し上げられる。三代将軍家光の弟・保科正之が最上から23万石で入封。

松平家



1862(文久2年)/容保京都守護職を命じられる。
1868(慶応4年)/戊辰戦争がおきる。
1ヶ月の籠城の後、鶴ヶ城開城。



1874年/鶴ヶ城取り壊し。
1965年/天守閣再建工事落成。
1984年/築城600年記念式典。
1990年/茶室麟閣を本丸内に移築。
2000年/干飯槽・南走長屋を復元。
2011年/天守閣屋根瓦を赤瓦に葺き替え完成。
2015年/天守閣再建50周年(内部をリニューアル)



茶室麟閣



天正19年、千利休は豊臣秀吉の怒りにふれ、死を命じられました。この時、千利休の茶道が途絶えることを惜しんだ会津の領主、蒲生氏郷は、利休の子の少庵を会津に匿い、豊臣秀吉に『千家再興』を願いました。この結果、少庵は京都へ帰り、千家茶道は少庵の子の宗旦に引き継がれ、その孫により武者小路千家、表千家、裏千家の三千家が興され現在に伝えられています。

この「麟閣」は少庵が会津に匿われていた時、氏郷のために造ったと伝えられており、戊辰戦争後は茶人森川善兵衛宅で大切に保存されてきました。

会津若松市では平成2年、市制90周年を記念し、この麟閣を元の場所へ移築復元し後世へ伝えるものです。

